

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	観光名所（職 員）	来客数の動き	・5月はゴールデンウィークの曜日並びもよく、施設利用者数は、前年同月対比で5月24日現在で102.5%と伸びている。1月は85.3%で前年度割れであった。来園者は、一般団体客、修学旅行、家族連れが多い。
	やや良く なっている	百貨店（担当 者）	来客数の動き	・5月初めに入梅し、月を通して気温が上がらず苦戦傾向と予測したが、主力衣料が好調に推移している。特に婦人関連が好調で、衣料、服飾雑貨共に対前年比プラス3～5%になった。これは店舗全体における動員力のある企画が奏功した結果である。この結果、客数において全店ベースで対前月比プラス3%、客単価も衣料品が、前月比プラス1,000円と改善している。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	来客数の動き	・商品への質と価格、アフターサービスなどに対応して、徐々に上向いている。
		観光型ホテル （営業担当）	来客数の動き	・客室単価、売上ともに良い。
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・季節イベントの集客状況や実際の売上などを総合的に判断すると、個人消費が意外に活発であることが分かる。ディナーショー等のイベント開催では単価設定が一番難しいが、価値観さえ合えば多少の高価格設定でも集客できる。これは生活に余裕がある表れでもある。
		その他のサービス 〔レンタ カー〕（営業担 当）	来客数の動き	・那覇市内に新規開店のビジネスホテルが増えた結果、市内での利用客数が増えている。
	変わらない	一般小売店 〔靴・袋物〕 （経営者）	お客様の様子	・5月は連休の並びのせいで、あるいは母の日が前年より前半の方にきているため、連休中の売上があまり良くない。特に旅行関係の動きが前年より悪い。
		スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・来店客数は前年比101%と好調に推移しているが、客単価が低く売上高では前年を下回る。
		その他専門店 〔書籍〕（店 長）	単価の動き	・来店客数は増えているが、目的の商品のみ手にして、衝動買いはほとんどなくなっている。文具用品についてもセット物はあまり回転せず、ばら売りの動きが良い。
		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	単価の動き	・入客数は増えつつあるが、低価格のイベントに集中し、平均単価が落ちている。
住宅販売会社 （従業員）		来客数の動き	・ゴールデンウィークの集客はほぼ前年並みであったが、その中で商談レベルに上がる客の数は減少している。	
やや悪く なっている		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・来客数は前年度の96.08%で、一日平均30人ほど減っている。
	悪く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・一般の客は郊外に流客して、中心商店街のエリアはほぼ観光客関連になっており、現在、競合状態にある。店の間で売上のギャップがあるが、全体的には売れていない。
		コンビニ（経営 者）	競争相手の様子	・ここ1年は対前年比で2、3%売上が伸びていたが、近くに新装オープンしたスーパーの影響で前年比で5%の売上減少となっている。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・受注件数が増加している。
		通信業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・法人向け大口受注が確定し、長期にわたって継続利用が期待できる。消費者向けサービスで4月からの新規キャンペーンが5月の受注増に反映している。
		不動産業（支店 長）	受注量や販売量 の動き	・問い合わせや成約が、わずかずつではあるが増えている。
	変わらない			
やや悪く なっている				
悪く なっている				

雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・派遣先からの追加依頼や新規依頼が増えている。また関連会社でもゴールデンウィークのあった今月は前年比売上がアップしている。ただ、派遣依頼については、依頼目的が仕事量の増加だけではなく、派遣社員の受け入れによる社内モチベーションの向上もあると聞いたため、長期になるかどうかは分からない。
		求人情報誌製作 会社(営業担 当)	求職者数の動き	・中小企業の合同就職説明会の参加企業及び求職者の動きを見ると、採用環境が良くなっている。
		学校[専門学 校](就職担 当)	求人数の動き	・IT関連企業の求人を中心に、それ以外の業種の求人も伸びている。新規に新卒を採用しようとする企業の積極的な姿勢がうかがわれる。
	変わらない	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は3か月前比(1月)、4,291人で0.05%減である。雇用形態等では、一般求人は3,507人、構成比81.7%、3か月前比(1月)0.8%増加している。パート求人は784人構成比18.3%で3か月前比(1月)3.8%の減少である。4月の産業別新規求人を3か月前比で見ると、建設業、情報通信業、運輸業、医療業・福祉業、サービス業で求人が増加している一方、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店・宿泊業、教育学習支援業、複合サービス業で減少している。有効求人倍率は、0.54倍で3か月前比(1月)(0.58倍)0.04ポイント低くなっている。就職件数は、3か月前比3.5%の減である。
やや悪く なっている	学校[大学] (就職担当)	雇用形態の様子	・新卒の求人は依然として多いが、内訳では契約社員の求人が増加し、人件費圧縮の傾向が強まっている。	
	悪く なっている	-	-	-